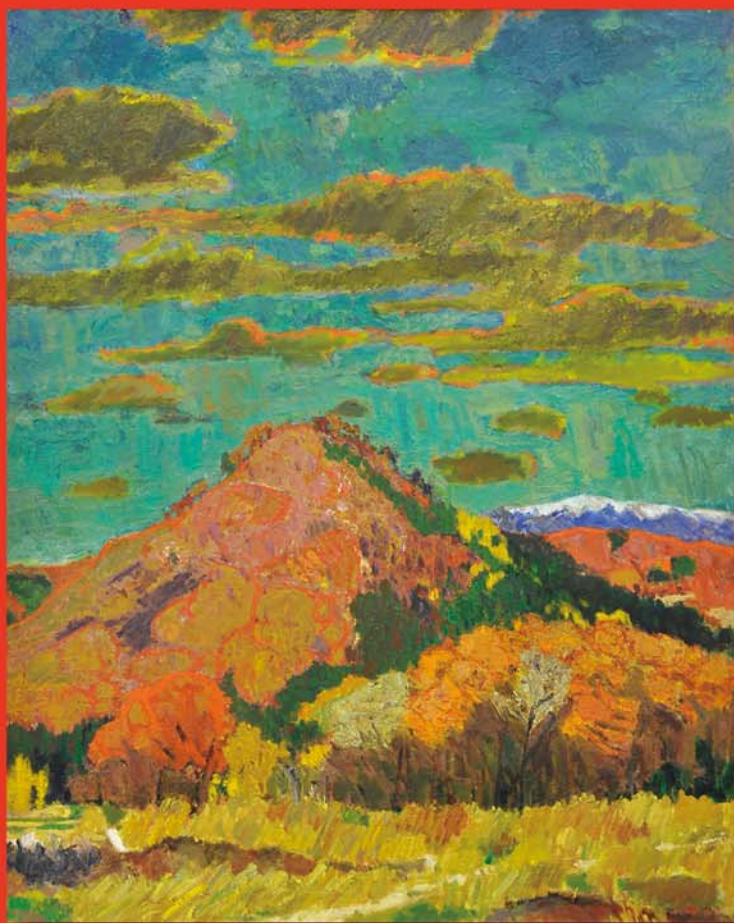


白鷹町出身の洋画家

梅津五郎と山形

2011年 3月3日(木) — 5月8日(日)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合、その翌日) ギャラリー開場時間／午前9時～午後7時(3月は午後5時まで)
観覧料／一般200円 高校生以下無料 団体150円(15人以上) 主催／白鷹町文化交流センター事業企画委員会



《蒼旻月山遠望》1986



《自画像》1987

梅津五郎 (1920—2003)

山形県白鷹町生まれの洋画家。画業を志して上京し、森田茂・熊岡美彦の両氏に師事した。東光展と日展を主な発表の場として活躍し、1956(昭和31)年の第12回日展では、自らが働く中華料理屋を描いた《調理場》が独特の生活感を評価され、特選を受賞した。鮮やかな色彩と分厚い筆致に特徴がある画家。東光会理事長や、日展参与などの重責も担った。

晩年、白鷹町に代表作など120余点の作品を寄贈し、それらは当館に收藏されている。